



TOYOTAの森づくり



森には、
いのちの物語がある
—森があるから、生きているトヨタの森づくりSTORY—

森にはいろんな生き物が生息^{せいそく}できる環境^{かんきょう}があり、
私たち人間もあらゆる場面で森の恵み^{めぐみ}をたくさん受けています。
森で繰り広げられる物語、「もりがたり」を^{らん}ご覧ください。



TOYOTA

人と自然 共生のかたち



01 地球温暖化防止

02 気候の調節



06 文化が生まれる

05 生き物のすみか

03 緑のダム

04 材料や食料の供給

豊かな川と海

皆さんの住む街の風景にはどんな「もりがたり」がありますか？

地球の森林は面積の8%、日本は67%が森林におおわれています。

山、里、川、海の生態系の中に、「森の恵み」を見ることができます。

さまざまな生き物、自然環境の中で、私たちの暮らしはどのように繋がっているのでしょうか。

もりがたり

01 地球温暖化防止

地球温暖化は私達が排出した二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが増えたために、地球から放出されるはずの熱がこもり、地球の温度が上昇してしまう現象です。樹木はその原因となる空気中のCO₂を取り込みながら成長し、生き物の呼吸に必要な酸素を放出します。そのため、森を守るとは温暖化対策の一つといわれています。



もりがたり

03 緑のダム

森林に降った雨は土壤にしみこみ、地下水となつて少しずつ川に流れていきます。森林の地面には落ち葉や枝が堆積し、ミミズなどの土壤生物が動き回ってそれを分解し、養分を含んだ腐葉土ができます。その土壤生物の活動や木の根っこが伸びることで、土壤には小さな穴がたくさんできてスポンジのようになっているため、降った雨を吸収することができるのです。



もりがたり

05 生き物のすみか

森には樹木だけでなく、様々な草木が生え、それをエサや棲みかとする昆虫や鳥、ウサギやキツネなどの動物がいます。さらには枯れた植物や動物のフン・死骸などを分解するお掃除隊の微生物がいて、それらはお互いに関わりあいながら、生態系を作っています。ある生き物がなくなると、それと繋がりのある生き物にも影響が出て、生態系のバランスが崩れてしまいます。



もりがたり

02 気候の調節

土壌や海からの水の蒸発、植物からの水の蒸散により、空にたまった水分が雲となり雨になって降ってきます。また、森林には気候を緩和する機能があります。暑い夏に森林や緑地に行くとき涼しいのは、枝葉が日光を遮って木陰を作ったり、植物からの蒸発散により太陽の熱を奪って気温を下げるからです。



もりがたり

04 材料や食料の供給

森林から生みだされる恵みは、建物や木製品、紙の原料として使われる木材を始め、きのこ類や山菜などの食べ物、燃料など多岐にわたります。また、材料や食料を生み出すだけでなく、山に降った雨は土にしみ込んでミネラル分を含んで川に流れて飲み水となり、最後には海に流れ、海の生き物たちにも影響を与えています。



もりがたり

06 文化が生まれる

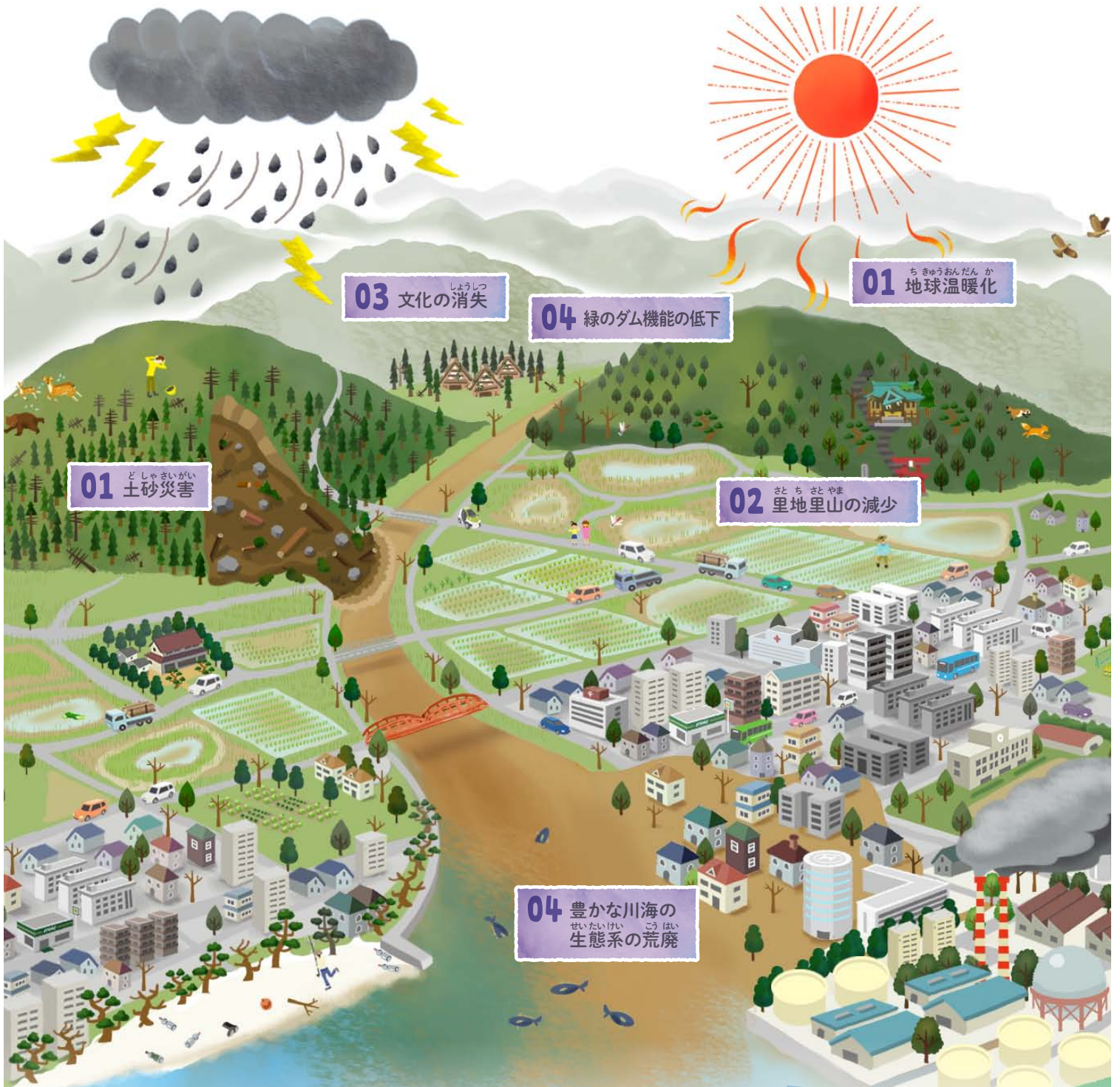
日本では、巨木や山が信仰の対象になったり、紅葉狩りや花見などで季節を楽しむなど、森は古くから人の感性に影響を与える存在でした。また、各地域の気候風土にあった暮らしのために、人は知恵を使って文化を育んできました。例えば、岐阜県の世界文化遺産白川郷合掌造り。「合掌」の形の屋根は、大雪が降っても雪が落ちやすく、屋根に使われる植物の茅は、断熱性と通気性、耐久性に優れています。





森の課題

こんなもりがたりになっていませんか…?



気づくこと、知ること

環境学習に参加しよう!

ひとりひとりが自然について理解し、環境にやさしい行動ができる人が増えることで持続可能な社会の実現につながります。



森の課題 01

地球温暖化、土砂災害

世界では森林が減少し、日本では長年放置された森林が増え、その機能の低下が問題となっています。戦後の日本では木材不足を補うため、たくさんのスギやヒノキなどが人の手で植えられ、育てられてきました(人工林)。人工林は手入れをすることで、しっかり根が張って大きな木に成長します。また間伐を行うことで太陽の光が地に届き、下草が生えて土砂災害を防ぎます。しかし近年、日本では国産の木材が使われなくなったことから、手入れがされない人工林が増えてきました。



▲手入れされている人工林



▲放置された人工林。
「緑のダム」も失われている

森の課題 03

文化の消失

日本には森林や草原、川や海などがあって、そこには様々な生き物が生息して生態系ができています。各地域の風土に合わせて多様な文化を育み、持続可能な暮らしをしてきました。しかし、現在ではどこに行っても同じ物が購入できるようになり、地域ごとの特徴が失われてきているかもしれません。地域に残る自然とそれに根づく文化に目を向けてみると、持続可能な暮らしのヒントを発見できるかもしれません。



▲世界文化遺産白川郷合掌造り(岐阜県)。この屋根裏はかつて養蚕の作業場として使われ、人々の生活を支えてきた

森の課題 02

身近な自然の減少

森林や里山には木や草花があり、動物、昆虫などの様々な生き物がいます。かつて日本人は、山あいの小さな田んぼでも米を作り、里山の木を薪として利用するため適度に間引いて明るい林が維持されてきました。しかし現在では生活の変化とともに、燃料は薪ではなく化石燃料が使われ、生産性の低い小さな水田では稲作がおこなわれなくなりました。そのため、長い間人の生活と共に生息してきた生き物のすみかは失われようとしています。



▲稲作が行われる里山の水田



▲放棄された里山の水田

森の課題 04

川海の生態系への影響

日本には古くから「魚つき林」という森林があり、保全されてきました。これは、森と海が密接に関わりあっていることが経験的に知られていたからです。森林の緑のダム機能により、土砂が川や海に流れるのを防ぎ、ミネラル分を含んだ水が、川や海に流れ込むことで、魚や貝などの餌になるプランクトンや海藻などの生育に良い影響を与えています。海のために、山に植樹をする漁師さんたちもいるのです。



▲豊かな海で行われている海産物の養殖の風景

トヨタは森が地域・社会の重要な基盤であると考え、 様々な取り組みを行っています

CO₂0 TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050

CHALLENGE 1 新車CO₂ゼロチャレンジ

CHALLENGE 2 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ

CHALLENGE 3 工場CO₂ゼロチャレンジ

CHALLENGE 4 水環境インフラ最適化チャレンジ

CHALLENGE 5 循環型社会・システム構築チャレンジ

CHALLENGE 6 人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ

① “CO₂ゼロ”を成し遂げる「ゼロへのチャレンジ」 × ② “プラスの世界”を成し遂げる「プラスへのチャレンジ」

トヨタ環境チャレンジ2050

トヨタは深刻化する地球環境の問題に対処し、人とクルマと自然が共生する社会を目指して、2015年10月に「トヨタ環境チャレンジ2050」を公表。クルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、人と自然が共生できる未来づくりに向けて、地球・社会にプラスとなる取り組みを行っています。

トヨタの森

所在地 愛知県豊田市

里山環境を保全するとともに、それを活用した取り組みを行っています。

整備 多種多様な動植物が生きる豊かな森を目指し、整備を実施

調査 整備によって森がどのように変わっていくかを継続的に調査

教育 多くの方に自然の魅力を感じて、楽しく学んでもらえるプログラムを実施



▲森歩きツアーガイド



▲ハッチョウトンボ



▲ムササビ

トヨタの森で自然体験!

森歩きツアーガイド(事前予約必要)

普段何気なく歩いている道も、秘密がいっぱい。森の案内人「インタープリター」が生き物の隠れ家や自然のメッセージをお伝えします。

全ての人に自然とふれあう場を

これまで森に来ることが難しかった障がいのある方々にも四季折々の自然を感じて楽しんでもらいたいと、インタープリターと一緒に森を歩き、ご案内しています。

お問い合わせ先

トヨタの森
さとやまがくしゅうかん
里山学習館 エコの森ハウス

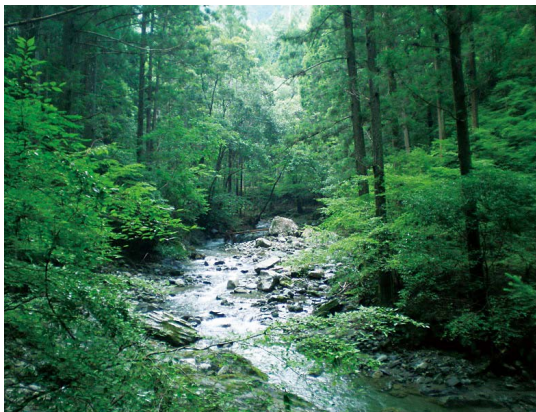
愛知県豊田市岩倉町一本松1-1
TEL:0565-58-2736

トヨタの森
ブログ

トヨタの森ブログ 検索



【答え】ハッチョウトンボ



三重宮川山林



所在地 | 三重県多気郡大台町

日本有数の多雨地域である大台山系を源流とする宮川の上流域にあります。2007年より、自動車製造で培ったノウハウを林業に活用し、健全な森づくりに取り組んでいます。スギやヒノキの人工林の間伐を進め、人工林の中で木材生産に適さない森林は、間伐を繰り返して、広葉樹の定着をうながし、自然林に戻す取り組みにも着手しています。

これまでの取り組み

間伐の推進

20年間未整備だった暗い過密林の間伐を進め、下草が生える明るい森に。

山林の資源情報の見える化

山林管理から、航空写真と森林の資源調査によりデータに基づく山林管理に。

カン・コツ・慣れの無い安全な山林作業

自動車の工場で行われている安全対応を林業の現場に導入。労働災害の多い林業の現場で、作業の見える化をして安全基準を明確にし、災害ゼロを目指しています。



トヨタ白川郷自然学校

所在地 | 岐阜県大野郡白川村



自然環境に対する思いを深めるきっかけ作りの場として、2005年4月に開校。「共生」という理念のもと、訪れた方が自然を全身で満喫し、自然の営みや叡智に気づいていただくことに取り組んでいます。そのことがきっと一人ひとりの人生を豊かにするという願いが込められております。

お問い合わせ先

トヨタ白川郷自然学校

岐阜県大野郡白川村馬狩223 TEL:05769-6-1187

トヨタ白川郷

検索

<https://toyota.eco-inst.jp/>



自然と共生する工場

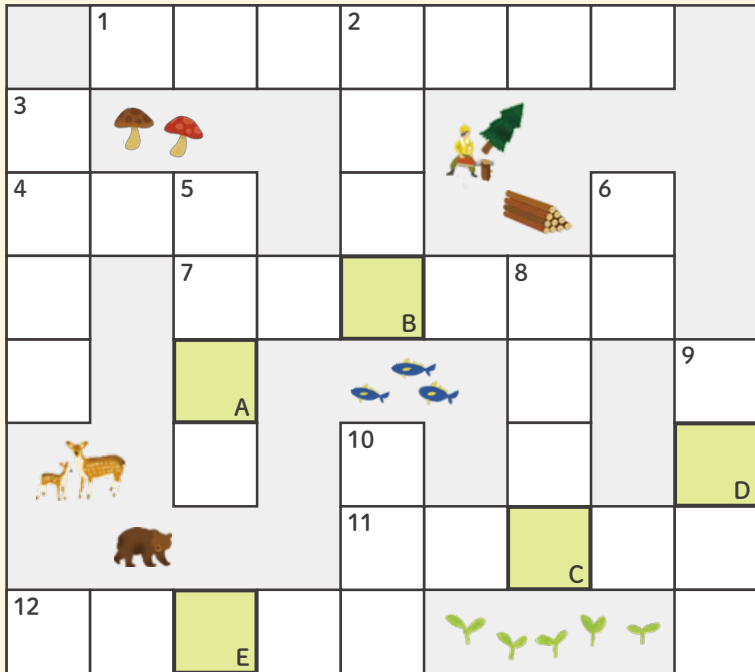
所在地 | 世界各地のトヨタの工場

従業員・家族・地域の皆様で進めてきた工場の森づくりは世界各地で行われ、国内での植樹本数は累計10万本をこえました。他にもビオトープを整備し水辺を創出するなど多様な生物が生息する拠点となっています。従業員が生物調査を行い、生育環境を確認するなど今後も人と自然が共生する工場づくりを進めていきます。



クロスワード de 森づくり

タテのカギ、ヨコのカギをヒントに、マスに文字を書き込んでクロスワードにチャレンジ!
この冊子の内容をよく読んで、A~Eに入る文字を答えましょう。



- 言葉は左から右、上から下にカタカナで入れましょう
- 小さい「ッ」「ユ」「ヨ」を、大きい「ツ」「ユ」「ヨ」として使うこともあるので注意しましょう

答え

A	B	C	D	E



トンボ

タテのカギ

- 〇〇〇〇を行うと、太陽の光が森林の地面に届き、下草が生えて土砂災害を防ぎます。
- 森林や里山には木や草花があり、動物、昆虫などの様々な〇〇〇〇がいます。
- 荒れはてること。適正な森林の整備が行われない状況が続くと、森林は〇〇〇〇してしまいます。
- 森には枯れた植物や動物の〇〇・死骸などを分解する微生物がいます。
- 暑い夏に森林や〇〇〇〇に行くとき涼しいのは、樹木や植物のおかげです。
- 地面に堆積した落ち葉や枝をミズなどの土壌生物が分解し、養分を含んだ〇〇〇〇ができます。
- 紅葉狩りや花見などで〇〇〇を楽しむなど、森は古くから人の感性に影響を与える存在でした。

ヨコのカギ

- 樹木は地球温暖化の原因となる〇〇〇〇〇〇〇〇を取り込み、酸素を放出しています。
- 〇〇〇〇類や山菜などの食べ物は、森林から生み出される恵みのひとつです。
- 日本には古くから「〇〇〇〇〇〇」という森林があり、保全されてきました。
- 人工林は手入れをすることで、しっかり根が張って大きな木に〇〇〇〇〇〇します。
- 土壌や海からの水の〇〇〇〇〇〇や、植物からの水の蒸散により、雲ができて、雨が降ります。

クロスワードの答えは6ページにあります

すべての答えはWebサイト内でご覧ください



森があるから、生きているトヨタの森づくりSTORY

TOYOTAの森づくり

検索

詳しくはWebサイトでご覧ください

